



WHITE PAPER 01

日本のUI/UXに足りない視点

— 設計思想の転換が、現場を変える —

なぜ今、 UI/UX改善なのか

デジタルツールの導入が加速する一方、多くの現場で「業務効率が上がらない」「システムが使いにくい」といった声が絶えません。実はこの「使いにくさ」、単なるUIの問題ではありません。根本には、人がシステムに合わせることを前提とした“設計思想”があります。

日本の多くの業務システムはいまだに「システム中心設計（System-Centered Design）」で作られており、その結果として、操作の複雑さや業務フローのひずみが生まれています。DXを掲げても、業務効率向上を実感できない企業が多いのはこの構造的な問題が背景にあるからです。

本ホワイトペーパーでは、そうした現実を変えるために必要な「戦略的UX」の考え方と、世界における潮流、そしてこれからの日本に必要な視点を紹介します。



DX推進の陰に潜む “使いにくさ”

システムの導入で業務が楽になるどころか、逆に煩雑になってしまうケースが増えています。例えばある企業では、業務がシステムに合わせて複雑化し、現場担当者の約3割が「ストレスの主要因」と回答しました。

これは単なる操作性の問題ではなく、“設計思想”の失敗です。

「慣れれば使える」というのは設計の敗北です。ユーザーがシステムに合わせるのではなく、システムがユーザーに寄り添う必要があります。



世界で進む、 UXの戦略的活用

海外ではすでに、UI/UXは単なる見た目や利便性ではなく、経営戦略の中核として扱われる領域になっています。

AmazonやAirbnbなどの先進企業は、UXへの投資を「競争優位の源泉」と位置づけ、数百億円規模の継続的な投資を行っています。その背景には、「使いにくさ」が業務効率・従業員満足度・顧客体験のすべてに直結するという共通認識があります。

一方の日本では、「まず機能を完成させる」という文化が根強く、UXは依然として“後工程の装飾”として扱われがちです。

この意識の差こそが、デジタル分野での国際競争力の差につながっています。



日本に必要なのは、 “思想の転換”

日本がこの状況を変えていくには、ツールや技術の導入だけでなく、「設計思想」そのものの転換が必要です。

「人がシステムに合わせる」SCDから、「人にシステムを合わせる」HCDへ。これはコストや作業量の問題ではなく、ものづくりにおける優先順位の再定義です。設計の出発点が変われば、成果も変わります。

UI/UXの改善は、見た目ではなく「構造の再設計」であり、組織全体の変革にもつながる取り組みです。



HCDによる構造改善

たとえば、ある企業では、複雑な操作フローによって新入社員の研修に6ヶ月を要していました。UIを見直し、ボタン配置を再設計したことで、ヘルプデスクへの問い合わせは半減し、研修期間は3ヶ月に短縮。

こうした変化は、たった1画面の見直しから始まりました。
これは単なる“改善”ではなく、設計思想の転換が生んだ成果です。



継続的な改善を支える “仕組み”

業務やシステムは時間とともに変化します。だからこそ、UX改善も“継続的な仕組み”として存在すべきです。

一度きりの改修では課題の本質は解決できません。

UI改善をチームに根付かせ、成果を再現可能な形で蓄積していく。これこそが、日本の現場に求められるUXのあり方です。



日本にも、 変われる兆しがある

近年では、スタートアップや一部の大手企業で、UXを軸とした改善が進みつつあります。

段階的な導入で効果を実感し、改善の再現性を高め、最終的には企業文化へと定着していく。こうした変化の兆しは、日本にも確かに存在します。

私たちはその動きを加速させる支援を行っています。



変革の第一歩は、 “気づき”から始まる

このホワイトペーパーが、あなたの現場の“見えない使いにくさ”に気づききっかけになれば幸いです。

設計思想を見直すことは、小さな改善からでも始められます。
あなたのチームにも、「変われる構造」はきっとあるはずです。



[巻末資料] Highlight：戦略的UXを支える伴走型支援

私たちアーキビジョン株式会社は、業務システムやSaaSに特化したUI/UX改善の専門チームとして、戦略的UXを実現するための支援サービス「Highlight」を提供しています。

Highlightの特徴

- 月額定額制の伴走型UI/UX改善サービス（15万円～）
- ヒューリスティック分析・プロトタイピング・効果測定までを一気通貫で支援
- 「業務分析 × デザイン × エンジニアリング」の三位一体で課題の本質にアプローチ
- スタートアップから大手企業まで、継続的な改善実績あり

無料診断について

UI/UXの改善ポテンシャルを確認するため、50項目のチェックシートに基づく無料診断を提供しています。

- 診断対象：1画面（Web・業務システム問わず）
- 出力内容：課題指摘＋改善方向性＋期待効果（PDF3ページ）

詳細・お申し込み

<https://highlight-uiux.com>





使いやすさは、 あとまわしにしない。

まずは無料診断から始めてみませんか？

<https://highlight-uiux.com>



スマホでもすぐにアクセス

運営会社 アーキビジョン株式会社 「心おどる一歩先のクリエイションを」。UI/UXに特化したクリエイティブエンジニアリング会社として、18年以上にわたり業務系システムやSaaS、
<https://archvision.jp> モバイルアプリまで幅広いデジタルソリューションの設計・改善を手がけています。